



## 平成24年度 浦添市福祉のまちづくり活動実践報告会

～みんなで作る 明るい 浦添市～

3月23日(土)、浦添市社会福祉センターで「浦添市福祉のまちづくり活動実践報告会」を開催しました。

約180名の参加者が集い、今後の地域福祉の発展につながる報告会(コーディネーター: 沖縄大学地域研究所 特別研究員 稲垣 暁氏)となりました。

### 報告会

#### 1. 「地域相談支援モデル事業」の取り組みや方向性について…

報告者：仲西自治会 会長 島田 勝男 氏  
緑ヶ丘自治会 会長 新川 文雄 氏

「地域福祉支援ネットワーク活動」をさらに充実・発展させることで地域力の向上並びに活性化を目的に、それぞれの自治会の特徴を活かしながら活動を推進していることと、今後の取り組みについて発表。

#### 2. 学校として地域の絆を深め、子どもを豊かにはぐくんでいく活動

報告者：浦城小学校 教頭先生 前田 真利 氏

「ふるさとを愛する子」を学校教育目標のひとつに掲げ、「浦城っ子 地域ふれあいまつり」を開催するなど、地域・ボランティアなどとの連携を深めている事例を発表。

学校を中心として子どもを取り巻く大人の連携に見守られ、家庭に安心感が生まれる。  
そして学校が好きになり、地域に誇りを持つようになるだろう!!



ふるさとを愛する子  
(学校教育目標)

#### 3. 点訳活動と視覚障がい者への支援に携わる想い

報告者：点訳サークルホルトの会 河上 幹雄 氏

視覚障がい者の生活を豊かにするお手伝いとして1984年(昭和59年)に発足した点訳サークルホルトの会。点訳活動はもちろん、中途失明者への点字指導について報告。

##### サークル活動に参加している中途失明者の方からの声(一部抜粋)

「病気によりどんどん目が見えなくなっていく不安の中、ホルトの会と出会い、視覚障がい者として特別扱いせず、ひとりの人間として受け止めてくれた中村文先生をはじめサークルメンバーが支えになった。」

点訳サークルホルトの会 / 活動日: 毎週木曜日(10:00~12:00)

活動場所: 浦添市社会福祉センター ボランティア室

#### 講話

#### 演題: 災害時に備えての地域力

～防災・減災における学校区コミュニティの意義～



講師

沖縄大学地域研究所  
特別研究員  
稲垣 暁 氏

東日本大震災直後、「よりよい・情報支援ボランティア」を立ち上げ、被災地の現状と生の声を伝えるフリーペーパー「風の便り」を発行。

1995年の阪神・淡路大震災での被災経験、ボランティア活動を活かし、被災地との交流をとおりて災害に強いまちづくりのための支援を沖縄のまちづくりにつなげる活動を展開。災害時だけでなく、日頃から災害に備えた地域づくりの大切さを発信。

#### 参加者の感想

地域づくりのために、  
細く、長く、しつこく、  
継続できるボランティア  
に参加したい。

稲垣先生の講話を学  
校や自治会でも取り入  
れてほしい。

災害時の様子がリアル  
ルに伝わり、地域と学  
校の連携を真剣に考  
えていかなければなら  
ないことを感じた。